

せたがや 町総連だより

第46号

発行 世田谷区町会総連合会

世田谷区若林4-31-9ポライト第2ビル202

☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 山野井 崇 二

編集 情報誌編集委員会

編集委員長 横山 昭 夫

あけましておめでとうございます

世田谷区町会総連合会 会長 山野井 崇 二



会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から、世田谷区町会総連合会の事業につきまして、格別のご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

昨年に開催されました総会におきまして、斎藤会長の後任として会長の職に就くことになりました。新しい役員体制のもとで、町総連の事業に取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

現在、当総連合会には、197の町会・自治会が加入し、町会・自治会相互の親睦と協調関係の促進、情報交換や区と町会の連絡調整などを行っています。また、町会・自治会活動の活性化に向けて、区と協力しながら様々な取り組みを行っています。10年前に作成した「町会・自治会活性化マニュアル」を、現在の課題に沿った内容に更新するため、今年度中の作成に向けて取り組んでいます。

ホームページでは、区内の町会・自治会に関する様々な情報を載せています。町総連だよりも創刊号か

ら45号まで掲載しておりますので是非ご覧ください。

当総連合会では、2020年に開催されます東京オリンピック・パラリンピックの気運を盛り上げるための事業を昨年度より実施しています。当総連合会が大会の成功に取り組んでいることを町会・自治会未加入の区民にも知っていただき、加入促進につなげようとするものです。2回目になります本年1月20日には、烏山区民会館におきましてトークイベントを開催いたしました。

近頃は、隣近所のつながりが希薄になってきていると言われておりますが、この様な時こそ町会・自治会の果たす役割が益々大きくなってきていると実感しています。

今年も、世田谷区町会総連合会は会員相互で助け合い、親睦を図りながら「安全で安心な住みよい世田谷」を目指して参ります。

結びにこの1年の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

世田谷区長 保坂 展 人

町会・自治会の皆様には、お健やかに新年をお迎えることと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、区政の推進に多大なるご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年、世田谷区は、おかげさまで区制85周年を迎えることができました。その記念式典では、永年の区政へのご功勞として、町会・自治会からも多くの皆様表彰されたことに対しまして、心よりお祝い申し上げます。

昨年秋に世田谷区の人口が初めて90万人を超えました。今後も増加を続け、2035年～2040年には100万人に達すると推計しています。誰もが住み慣れた地域で快適に暮らすことができるよう、拡大する行政需要に区がしっかり対応することが一層大切になってきたと感じています。同時に、隣近所が支えあい

の絆で結ばれる住み良いまちづくりを、町会・自治会の皆さんが中心となって更に進めていただきたいと思います。

東京2020大会では、馬術競技やアメリカ選手団のキャンプを中心に、国内外からたくさんのお客様が私たちのまちを訪れます。世界の人々に世田谷を好きになっていただくチャンスです。そして、ご近所の力を合わせた歓迎の取組みをきっかけに、多くの方が町会・自治会をはじめとする地域活動の輪に加わることを期待しております。

結びに世田谷区町会総連合会の益々のご発展と、会員各位のご健勝を心からお祈り申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。



地域情報

北沢地域

安心して暮らせる松原地区を目指して

松原地区町会・自治会連合会 会長 福田 恒 夫

松原地区は、松原1丁目から6丁目で構成され、人口約29000人。甲州街道に面し、京王線・井の頭線・東急世田谷線が走り交通便利な位置にあります。

町会自治会は2町会と2自治会の4つで組織し、行政の区域割とは異なり、昔からの繋がりの中で大原、羽根木、赤堤の一部も入って活動しており、地区内は住民間の絆が強く一体感があります。

こうした一体感を背景に平成9年から始まったのが、松原地区独自の「松原地区ぐるみ支えあう会（ふれあい松原）」です。

この活動は家に閉じこもりがちな高齢者の交流、地域での孤立化や寝たきり防止などを目的に各町会・自治会毎に会館等で毎月1～2回、軽体操や演芸、会食などを行っています。会場内はいつも笑い声が絶えません。こうした笑顔が私達スタッフのカンフル剤ですし、今後さらに高齢化が進む中で、高齢者が健康で暮らすための一助となるよう関係者間での連携・協力をさらに深め喜ばれる行事となるよう知恵を絞って行きます。

災害時の支援では地区の全町会自治会で「避難行動要支援者の支援に関する協定」を区と結び、いざと言う時に備え各戸訪問を行っています。

一方平成26年度からの防災塾では地区の防災対策を見直す良い機会となり、木造住宅が密集し、みどりも少ない当地区には火災延焼対策の重要性が確認されました。

そこで29年度からは、従来の総合的な地区防災訓練から各町会自治会毎に火災を想定した住民による実践的な初期消火訓練を充実することとし、スタンドパイプや消火器訓練など消防署や消防団の協力を得ながら各町会・自治会で「自分たちの町は自分たちで守る」を合言葉に奮闘しています。さらに、避難所運営訓練にも力を入れています。

松原地区事業の一つに「まつばらデイキャンプ」があります。今年度で11回目となり参加者も約1200人（スタッフを含め）と盛大な行事になりました。

「垣根を越えてみんなで子育て」「防災意識の向上」を目的に、松原地区内の小学生とその家族を対象に松原小学校の教室・体育館・校庭をお借りして実施しています。

災害時を想定した炊き出しでは、手作りカレーとアルファ米が配られその大行列は災害時さながらの模擬体験です。昔遊びやおばけ屋敷、防災体験コーナーなども人気で、フィナーレは夜空に輝く花火の打ち上げで幕を閉じます。主催の青少年松原地区委員会を初め地区内18の諸団体などが関わり、松原地区の子ども達が輝き、未来に大きく羽ばたいて行くことを願い、地区ぐるみで取り組んでいます。

また各町会・自治会でも独自に様々な行事を開催しています。都会で観られる「ホテル観賞会」、身近な公園で動物とふれ合う「わくわくキッズフェスタ」、絵や書の展示、演芸やダンスの披露など「地域の文化祭ふれあい絆フェスタ」、私立高校や大学との連携による清掃・落書き消し活動など年間を通じ活発な活動が行われています。

こうした取り組みが輪となり、松原地区の住民同士が日頃からの繋がりを深めお互いに助け合う相互扶助の気運を高めて行くことで、私達の先代から受け継いだこの地区をより住みやすく安心して暮らせるまちとして、次世代に引き継いで行くことが、私達の活動の使命であることを肝に銘じ、今後も汗を流していきたいと思えます。

マツちゃん&ハラボーファミリー
松原地区キャラクター

玉川地域

中町4・5丁目町会の環境と今後の願望

中町4・5丁目町会 会長 白井 進

中町4・5丁目町会の環境は、今人気の町、三軒茶屋、二子玉川、自由が丘に近いが大変地味な住宅地です。小さな静かな中に保育園、幼稚園、小学校、中学校、児童館、公園、警察署、消防署、スーパーマーケット等、子育てに適した住み易い町です。今年の地元神社の例大祭の折、神輿庫で若い女性に声を掛けられ、その方は石川県から昨年東京に出て来て、今日部屋にいた所お祭りらしいお囃子が聞こえて「あっお祭りだ」と思い「いいな～」と思ったそうです。中々地方から来て東京に住んでいても地元の行事に参加する術が分かりません。もっと町会としては、広報活動を密にしなければと思います。

町会が力を入れている活動として小学生の登校時の安全見守り、平成15年から始めて雨の日も風の中でも毎朝、防犯部の名称「緑のレンジャー」緑の帽子、緑のジャンパーを身につけ通学路での安全を見守っています。10年前に近所の交差点で通学途中の生徒さんが、トラックに跳ねられ死亡しました。二度とこの様な事故が起きない様にお願い続けています。

もう一つの活動として午後6時に帰宅する（9月には真っ暗になります）学童保育BOP児童を各家庭まで毎日送り届けることは他の学校には無い活動です。



緑のレンジャーと新BOP児童

年2回行う防災訓練
消火栓使用でスタンドパイプ放水訓練です

年間行事として春と秋の防災訓練、避難所運営訓練、毎週土曜日の町内夜間パトロールには小学生と親御さんを含めて町内を3班に分かれてのパトロール、赤色灯、拍子木をたたいて各班10名程で和気藹々楽しく廻っています。夏の盆踊り大会、秋の町内運動会をそれぞれ楽しみに待っている大勢の方の参加で盛り上がります。毎年3月講師を招いての防犯講習会には警察の協力を得まして8年間続き、顔なじみになった講師の先生も手品を混ぜながらの話術で子ども達にも評判が良く防犯の心得を細かく説明を受け勉強をしています。

町会の悩みとして役員の高齢化の対処、後継者の育成を怠った役員の責任を痛感しつつ若返りに向けての努力をし、若者達への説明、コミュニケーション活動を活発にしながら近隣町会とも今まで以上協力を得て交流を深め意見交換をしながらご指導頂きたく願っております。

町総連ニュース

表彰

▼平成29年10月2日

東京都功労者表彰

宮崎 春代 副会長 (大蔵住宅自治会会長)

▼平成29年11月22日

厚生労働大臣表彰

甲斐円治郎 前監事 (前千駄山町会会長)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
に向けた気運醸成のためのトークイベントを開催
しました

▼日時 平成30年1月20日 午後2時より

場所 烏山区民会館

内容

第1部 講演

パクンマクン (お笑いコンビ)

第2部 対談

勝俣 州和 (タレント)

星 奈津美 (競泳メダリスト)

◎町総連情報誌編集委員会名簿

平成29年12月現在

役職名	氏名	所属町会・自治会名
会長	山野井 崇二	下馬新生自治会
委員長	横山 昭夫	九品仏自治会
副委員長	堀江 義之	若林町会
委員	飯塚 捷子	豪徳寺二丁目町会
〃	遠藤 幸一	大原北町会
〃	阿部 平四郎	馬事公苑前ハイム管理組合
〃	綱木 雅敏	フレール西経堂自治会
〃	菊地 朗	都営喜多見2丁目団地自治会
〃	仁藤 栄治	都営第一八幡山団地自治会
〃	松尾 秀好	児ヶ谷会



各町会・自治会でイラストをご自由にご利用ください。

※次号は世田谷地域・北沢地域・玉川地域の情報を掲載します。

編集後記

世田谷区の人口は昨年11月に90万人を超えました。

ちなみに全国47都道府県別人口の多い順から38番目の秋田県が100万9千人それ以下は総て100万人未満です。人口減少が進むなか、県ひとつに匹敵し更に増加する人口を抱える世田谷区です。

区では「世田谷みどり33」計画を進めています。区制100周年にあたる2032年迄に58km²に及ぶ区全域の3分の1を緑地にするという計画です。緑の公園は新たな友人と出会い、予期せぬ災害に見舞われた時はここに避難し助け合いの場ともなります。

町会自治会は区内に住む皆さんの心の中にも緑地を造りお互いの和を日頃から醸成していく組織でありたいと思います。

編集委員 阿部平四郎

世田谷区町会総連合会のホームページ

世田谷区町会

検索

※QRコード



バーコードの一種で、携帯電話で撮影して、簡単にホームページを見ることができます。